

事務事業評価調書

事務事業名	火災原因調査事業				
担当部名	消防本部	室課名	指令情報室	室課長名	液野 正敏

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和23年度	改正内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	消防法第31条													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり) <input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)													
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他											
		範囲等	吹田市全域にある生命・身体及び財産												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	火災の予防(火災事故の撲滅)												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	防災意識の向上による減災。													
(7)	事業概要	火災発生時より関係者からの供述内容、焼け跡からの焼き状況を調査し、火災発生経過や出火原因を判定する。更にこれらの火災原因から類似火災の発生防止に努める。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	9	項	1	目	1	大事業	3	中事業	3	小事業	2
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		65	41	65	46	144							
		人件費	職員数	人	13.00	13.00	12.00	12.00	12.00						
			総額(B)	千円	107,900	103,311	100,224	100,224	98,040						
		総事業費(A+B)		107,965	103,352	100,289	100,270	98,184							
		特定財源(C)		19	29	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	19	29	0	0	0							
		市負担(D)		107,946	103,323	100,289	100,270	98,184							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	107,946		103,323	100,289	100,270	98,184									
財源計(C+D)		107,965	103,352	100,289	100,270	98,184									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 1～12月までの吹田市消防本部が扱う火災の件数。	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	56.00	65.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 目標値は設定できない。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,845.57	1,542.62		
			一般財源(単位:千円)	1,845.57	1,542.62		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 火災件数を前年比(統計にあわせて暦年で表す)で10%減少させる。	目標値	(単位:)	56.00	65.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が 困難 な 場合 示 す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	適切な火災原因調査を実施し、類似火災の発生防止を図る。			達成状況	防火意識の向上を図っているが、火災発生状況から成果を把握するのは困難である。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		本事業は火災の様相を分析し、原因を究明することで、火災件数及び死傷者の減少・被害の軽減を図り、市民に快適で安心のできる環境づくりを提供する。また職員向けには火災に対する高度で専門的な知識を養成し、火災原因を予防行政・警防活動に活かすことにより、火災件数を減少ひいては火災による被害を軽減させることになる。よって消防行政上、非常に重要な事業である。				

事務事業分析シート

所属名	指令情報室	事業名	火災原因調査事業	事業区分	その他
事務事業番号	00801				

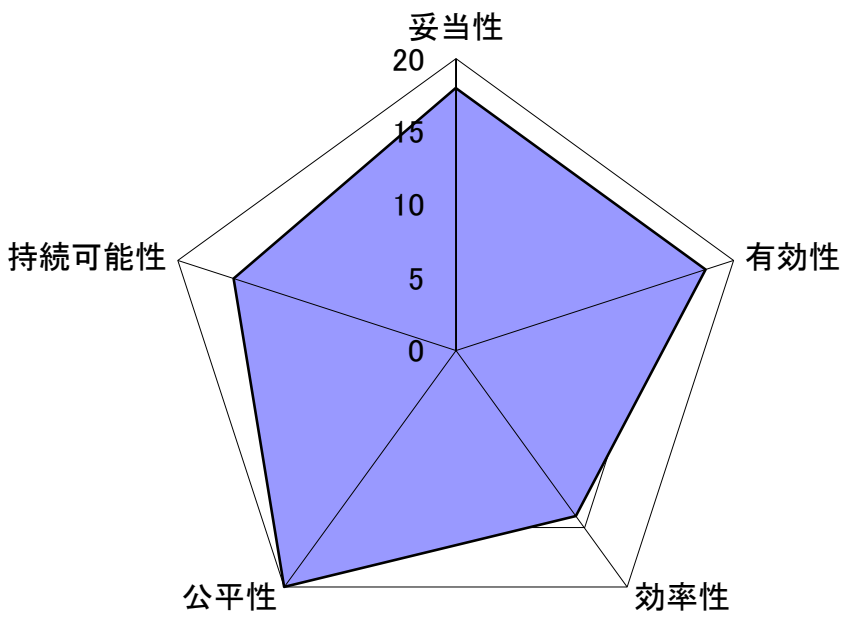
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	指令情報室	事務事業番号	00801
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	 <p>The radar chart displays five dimensions: 妥当性 (Appropriateness), 有効性 (Effectiveness), 効率性 (Efficiency), 公平性 (Fairness), and 持続可能性 (Sustainability). The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性: 18, 有効性: 15, 効率性: 10, 公平性: 10, 持続可能性: 10.</p>		
(3)現状分析	<p>火災の原因と正確な損害額を算定することは、消防固有の責務であり、後の火災予防につなげるために非常に重要な役割を持っている。消防としてはなくすことのできない事業であり、そのための知識・技術も研鑽している。ただし、それ故に効率よく事業を運営できるよう気をつけている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	救急安心センター運営事業				
担当部名	消防本部	室課名	指令情報室	室課長名	液野 正敏

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成22年度	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	消防組織法第39条													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	消防と医療が連携し、重症患者の早期発見による救急搬送の実現や救急医療機関の役割分担の適正化を図り、救急搬送時における円滑な搬送先医療機関の確保の推進など救命率向上を目指す。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の尊い命を守るための救急医療体制の充実を図り、身近な生活における安心安全を確保することができる。													
(7)	事業概要	症状の緊急性や救急車の要否について判断に悩む市民に対して、医学的見地から適切な助言を行い、多くの市民に安心感を与えとともに、必要なときは救急車を出動させる。府下全体に係る事業であるため、大阪市消防局を事業主体とし、本市は年度負担金を拠出し運営にあたるもの。そのため本市だけこの事業に不参加とすることはできない。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	9	項	1	目	1	大事業	3	中事業	3	小事業	3
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		6,637	6,588	7,568	7,492	6,739							
		人件費	職員数	人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00						
			総額(B)	千円	16,600	15,894	16,704	16,704	16,340						
		総事業費(A+B)		23,237	22,482	24,272	24,196	23,079							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		23,237	22,482	24,272	24,196	23,079							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			23,237	22,482	24,272	24,196	23,079								
財源計(C+D)		23,237	22,482	24,272	24,196	23,079									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 救急車を呼ぶべきか迷っている案件、または診てもらえる病院を探したい案件。(年度データで集計)	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	6,754.00	7,568.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	目標値を設定できない。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3.34	3.20	
				一般財源(単位:千円)	3.34	3.20	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	目標値を設定できない。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 救急安心センターを利用する案件。(年度データで集計)	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	6,754.00	7,568.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	目標値を設定できない。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3.34	3.20	
				一般財源(単位:千円)	3.34	3.20	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	目標値を設定できない。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		吹田市の救急搬送者における軽症者の割合が6割を超えている中で救急安心センターの医療相談により必要な救急搬送件数が減少することが期待できるため、事業の継続は必要である。				

事務事業分析シート

所属名	指令情報室	事業名	救急安心センター運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00802				

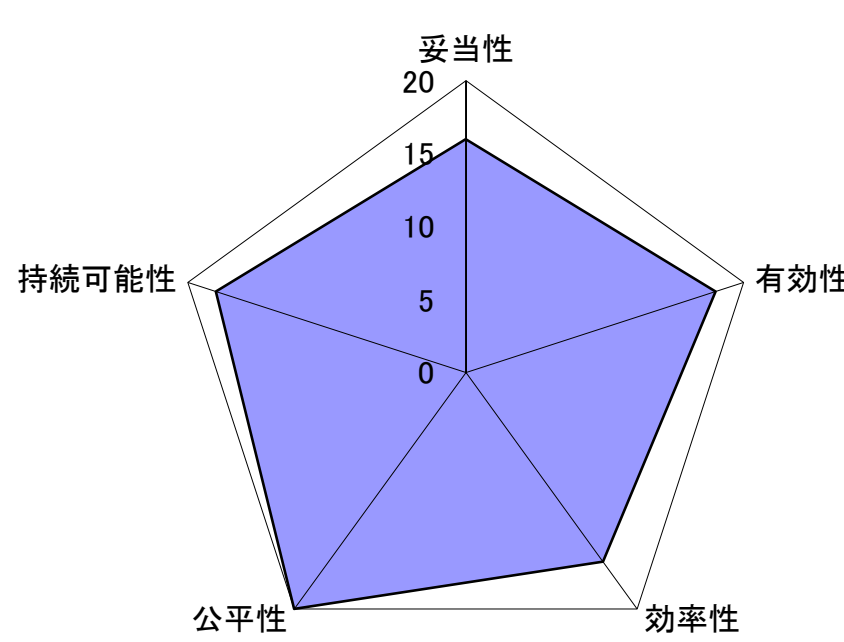
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	指令情報室	事務事業番号	00802
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、年々利用者数が増加する傾向にあり、この事業の必要性を強く感じる。また、病院照会については当消防本部でも行っているが、本事業の認知度が上がることによって当消防本部の事務的な負担が軽減され、その分119番通報の受付に時間を割くことが可能になる。これからもぜひ推進していきたい事業である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	消防通信指令事務共同運用事業				
担当部名	消防本部	室課名	指令情報室	室課長名	液野 正敏

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	25		改正 内容											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	消防救急無線の広域化・共同化および消防指令業務の推進について(平成17年7月15日 消防消第141号)													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり		節	1		細節	30					
(6) 目的	対象 (誰を、何を)		区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他								
	目標 (どういう状態にしたいのか)		範囲等	消防通信指令事務										
	結果 (どのような効果が得られるのか)		消防通信指令事務を一括して行うことにより、救急事故多発時や大規模災害時に119番通報受信と同時に応援出動や特殊車両(はしご車・化学車)の有効活用ができるとともに、整備費やランニングコストが低減できる。											
(7) 事業概要	消防指令センターを共同で整備し運用することで、消防力の効率的運用による市民サービスの向上を図るとともに、費用面での節減効果を目指す。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	9	項	1	目	1	大事業	3	中事業	3	小事業	4
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		13,716	5,886	1,230,854	1,136,904	12,308							
	人件費	職員数	人	3.00	3.00	3.00	3.00	18.00						
		総額(B)	千円	24,900	23,841	25,056	25,056	147,060						
	総事業費(A+B)		38,616	29,727	1,255,910	1,161,960	159,368							
	特定財源(C)		3,316	1,626	530,669	499,144	2,125							
	(内訳)	国		0	0	202,746	204,194	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		3,316	1,626	327,923	294,950	2,125						
	市負担(D)		35,300	28,101	725,241	662,816	157,243							
	(内訳)	地方債		10,300	4,200	627,200	573,984	0						
その他		0	0	0	0	0								
一般財源		25,000	23,901	98,041	88,832	157,243								
財源計(C+D)		38,616	29,727	1,255,910	1,161,960	159,368								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	消防通信指令事務共同運用事業摂津市負担金											
		②	消防防災施設設備整備費補助金											
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容	消防通信指令事務を摂津市と共同で行うために諸課題を検討し、吹田市・摂津市消防指令センターの実施設計を行った。			目標	摂津市との消防通信指令事務共同運用を開始する。	
	②	成果内容	吹田市・摂津市消防指令センターの実施設計を完了するとともに、消防・救急デジタル無線との連携についても整備仕様書に反映させた。			達成状況	年度内に開始。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		消防通信指令事務の共同運用については、国の方針を受けて平成22年度から複数の近隣市と段階的に検討してきたもので、平成28年4月1日から摂津市と2市により共同運用を実施するものである。 平成26年度は、吹田市・摂津市消防指令センターの実施設計を行うとともに、吹田市・摂津市消防救急デジタル無線の仕様調整を行い、運用面についても具体的な検討を進めてきた。 平成27年度には、両施設の整備を行い、消防指令事務の運用方法などについて、詳細な検討を行った。				

事務事業分析シート

所属名	指令情報室	事業名	消防通信指令事務共同運用事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00814				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	100	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	指令情報室	事務事業番号	00814
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	各視点とも適正といえる。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

消防通信指令施設の共同運用により、消防力の効率的運用や行政財政面でも多くの有効性が認められる。